

旧東京理科大学久喜キャンパス活用計画(案)について【概要説明】

東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用にあたりましては、基本的な考え方として、子育て支援並びに教育の充実を主軸とした有効活用を図ることで、若い世代にも選ばれる魅力的なまちづくりを推進することとしました。（この活用案の施設名は全て仮称です。）

1. 敷地の活用（案）

①給食センターの新規建設

当該跡地の敷地は約53,000㎡と広大な土地であり、その有効活用を図るため、敷地南側の約12,000㎡部分に、新たな給食センターの建設用地を確保します。

給食センターの概略としては、市内の全小中学校34校の児童生徒分となる調理能力が1日最大12,000食、建築面積約4,500㎡の規模を想定しています。

②A棟の解体・撤去

敷地内に約300台を確保するため、「I全体平面図」の点線部分で表示しているA棟を解体・撤去し、新たな駐車場を整備します。

2. 建物の活用（案）

(1) 久喜市子育て教育センター（B・C・D・E・F棟）の主な施設

①久喜西児童館・子育て支援センター

この施設は、久喜駅西側地区における児童館機能と、子育て家庭の保護者とその子どもを対象に親子の交流の場を提供する地域子育て支援センター機能を有する複合施設です。

②教育センター

この施設は、一般的な教育センター機能だけでなく、乳幼児期から学齢期までの子育てや発達・教育に関する相談・支援体制を一元的に連携して対応することのできる、子育て相談機能を有する複合的な教育センターです。

③市民ギャラリー

この施設は、市民の豊かな芸術文化の発展をめざして、芸術文化鑑賞の機会と団体・個人の成果を発表する場です。

④こども図書館

この施設は、子どもたちが読書の楽しさに触れ、自身の可能性を広げられるよう、幼児から児童・生徒を対象とした図書館です。

⑤教育委員会事務局の移転

当該跡地を本市の教育行政の拠点とするため、その中枢を担う教育委員会事務局を移転配置します。

(2) 久喜市生涯学習センター

①久喜市生涯学習センター

この施設は、本市の生涯学習の中核を担う施設として、市民の学習や文化芸術活動を支援するとともに、人づくり・地域づくりを総合的に推進するために、貸館機能を中心として設置します。

■スケジュール（案）

当該跡地については、全体の活用案を検討していく中で活用計画が固まったものから利用開始に向けた手続を進め、本年10月を目途に施設の一部供用開始をめざしてきましたが、改修工事等の実施に伴い、一部供用開始の時期に変更が生じました。

現時点におけるスケジュール（案）は下記のとおりです。

改修工事等は、工期を3期に分けて施工する予定です。

- ・ 第1期工事 … 一部供用開始（教育委員会事務局の移転）のためのC・D・F棟の改修工事です。
設計（平成28年度）改修工事（平成29年度）
教育委員会事務局の移転は、平成29年12月予定
一部供用開始は、平成30年1月予定
- ・ 第2期工事 … A棟解体工事及び外構工事です。
設計（平成28年度）解体及び外構工事（平成29年度）
- ・ 第3期工事 … 生涯学習センター及びB・C・D・E・F棟の改修工事です。
《生涯学習センター》
設計（平成29年度）改修工事（平成30年度）
平成31年4月オープンをめざします。
《B棟～F棟》
設計（平成29年度）改修工事（平成30、31年度）
平成32年4月供用開始をめざします。